

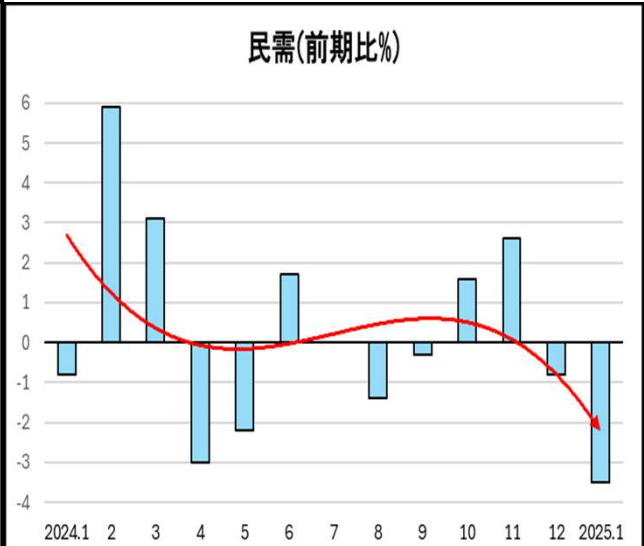
# 日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.53)(2025.03.24)

《日本経済》

日本政策総研代表取締役社長  
宮脇 淳

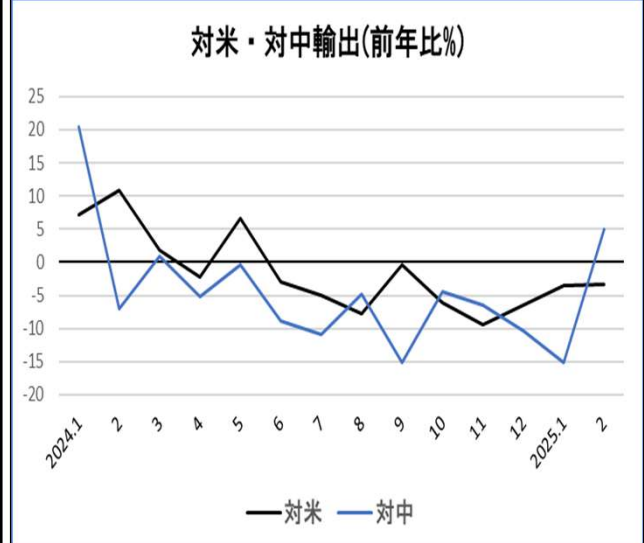
## 機械受注減速

2024年年末以降、企業設備投資の先行指標となる機械受注にブレーキがかかり、民需としての機械投資が足重となっている。企業の設備投資意欲は、更新投資、高付加価値投資等潜在的に強いものの、トランプ政権政策の影響を見極める姿勢も強く足元は減少状況にある。トランプ政権政策の世界経済に与える影響がある程度見通せるようになる年央以降は、設備投資も再び堅調に推移することが期待される。(資料:経済産業省「機械受注」)



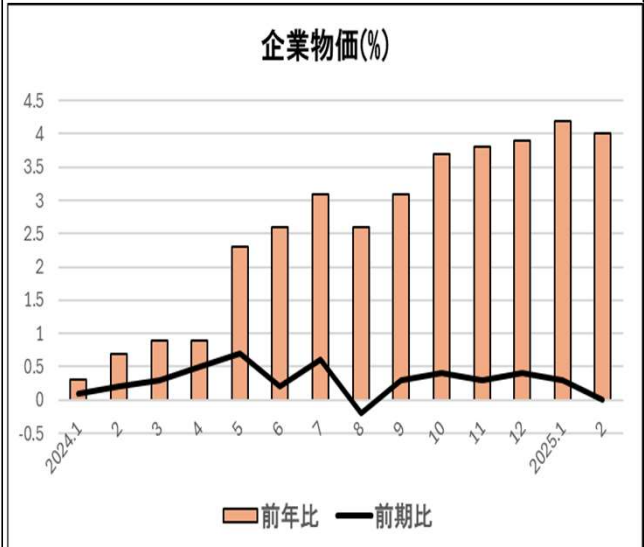
## 対米・対中輸出堅調

2025年2月貿易収支は、黒字となった。為替要因を受けない数量ベースでみると対中国輸出が昨年との春節日程の違いがあるものの1-2月期を通じてみると堅調な動きとなったほか、対米輸出も自動車関連が増加したことから底固い動きとなった。今後は、米国トランプ政権の関税政策の行方次第で動向が変わること、対中国輸出も経済の自立的回復には時間を要するなどから、今年前半は不透明な動きが見込まれる。(資料:財務省「貿易統計」)



## 企業物価堅調

2025年2月企業物価は前期比で横ばいとなり、前年比で示される価格水準は、石油製品等の上昇に加え、農林水産関係の上昇が影響し高い水準のままとなった。なお、国内企業物価に影響を与える輸入物価は、原油価格が軟調に推移し、為替相場が1ドル150円台から140円台後半へと円高となり、契約通貨ベースで前年比マイナスとなった。国内企業物価は、コメ価格が強含むことなどから、当面堅調な動向と見込まれる。(資料:日本銀行「企業物価」)



内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEfktQ4S87nNC6>